

2015年度 定期総会資料

日時 2015年4月26日(日)
14時00分から14時45分

場所 ユニコムプラザさがみはら



日本臨床発達心理士会神奈川支部

2015年3月吉日

神奈川県支部会員の皆さま

日本臨床発達心理士会神奈川県支部
支部長 三隅 輝見子

定期総会のお知らせ

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本臨床発達心理士会神奈川県支部の定期総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 2015年4月26日(日) 午後14時00分～14時45分
- 2 場所 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
住所：相模原市南区相模大野3丁目3番2-301号 bono 相模大野 南棟3階
- 3 総会次第
 - ① 議長選出
 - ② 2014年度 活動報告
 - ③ 2014年度 決算報告
 - ④ 2015年度 役員選出
 - ⑤ 2015年度 活動計画案
 - ⑥ 2015年度 予算報告

以上

総会に欠席される方は、委任状を4月18日(土)消印有効までに、必ず下記宛先にご郵送ください。よろしくお願いたします。

〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4
帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科
瀬戸淳子 (宛)

..... き り と り

委任状

議長 殿

日本臨床発達心理士会神奈川県支部の2015年度定期総会に関する議決
については、すべて次の者に一任いたします。

議長 _____ (_____) 該当箇所には○またはご記入下さい。

2015年 _____ 月 _____ 日

ID番号 _____ 氏名 _____ (印)

2014年度日本臨床発達心理士会神奈川支部 活動報告

2014年度は、新たに12名の会員を迎え、神奈川支部は221名の会員でスタートしました。神奈川支部では、会員の活動領域をまたいで臨床発達心理士として必要とされる専門性の向上と会員間の相互交流をめざして、年2回の研修会を企画しました。2014年度は、全体研修とライフステージ別分科会を組み合わせ実施しました。全体研修では、神奈川県下で活躍されている講師を招き、高次脳機能障害やペアレントプログラムに関する最新動向について学びました。ライフステージ別分科会では、会員同士で神奈川の現状を確認し課題を共有しました。

この他、神奈川支部ニュースレターを年2回発行し、研修会報告、臨床実践の活動報告のコーナー等を設け、支部会員の活動を紹介しました。神奈川支部ホームページには、支部研修会の開催情報、支部会員から寄せられた研修会情報、支部研修会の実施報告、災害支援の活動報告、国家資格化に向けた全国士会の動向等の情報を掲載し、広く会員に呼びかけました。また、全国士会の災害・危機支援特別委員会からの依頼を受けて、支部協力委員1名を選出し、全国支部連携の体制整備に協力をいたしました。

1 総会の実施

2014年度の総会を、2014年4月27日(日)にユニコムプラザさがみはらにて開催しました。2013年度の活動報告および決算の承認、2014年度の活動計画を決定しました。

2 研修会の開催

神奈川支部主催資格更新研修会を年2回開催しました。今年度は最新の知見や先進的な実践について学ぶ機会を持ち、会員間の相互交流と実践に関する情報交換を目的とする分科会も初めて実施しました。

<第1回>

日 程 2014年4月27日(日) 10:00~16:30

会 場 ユニコムプラザさがみはら

① 講演 「高次脳機能障害—心理士として知っておくべきこと—」

(午前3時間：1ポイント)

講師 山口加代子氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)

参加者 104名

② 分科会「実践報告と意見交換」(午後1.5時間：0.5ポイント)

・「乳児院の現状と課題」

話題提供 高橋伸枝氏(乳児院デュナミス)

参加者 9名

・「神奈川県立総合教育センターの教育相談業務について」

話題提供 由谷るみ子氏(神奈川県立座間養護学校)

参加者 14名

・「女性の生涯発達における月経周期の発達過程

—その心理・社会的問題と臨床発達心理学的支援—」

話題提供 川瀬良美氏(淑徳大学)

参加者 4名

- ・「東日本大震災での支援報告とこれからの神奈川支部での災害支援の検討」：
話題提供 尾崎浩子氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）

参加者 7名

- ・「発達障害 幼児期から学齢期にかけての取り組み
ーアセスメントの難しさと支援方法の模索ー」：
話題提供 中村泉氏（戸塚地域療育センター）

参加者 43名

<第2回>

日 程 2015年1月31日（土）10：30～16：10

（午前1.5時間：0.5ポイント、午後3時間：1ポイント）

会 場 ユニコムプラザさがみはら

テーマ 子どもの発達を促すためのペアレントプログラムー神奈川県共同事業についてー

参加者 104名

- ① 講演 「ペアレントプログラムの神奈川県共同事業について」
講師 尾崎康子氏（相模女子大学）
- ② 講演 「自閉症スペクトラム障害の診断意義と発達支援」
講師 金井智恵子氏（昭和大学）
- ③ 講演 「社会的コミュニケーションの発達を促すペアレントプログラム」
講師 尾崎康子氏（相模女子大学）
- ④ 講演 「感覚・運動発達を促すペアレントプログラム」
講師 トート・ガーボル（相模女子大学）

3 災害支援対策

- (1) 支部協力委員として、日本臨床発達心理士会災害・危機特別支援委員会に出席しました。
- (2) 災害支援マニュアルの神奈川支部版を作成し、HPで会員の皆様にお知らせしました。

4 日本臨床発達心理士会への参加・協力

- (1) 日本臨床発達心理士会幹事会に出席いたしました。
- (2) 全国研修会への参加等を行いました。
- (3) 心理職の国家資格化に向けたシンポジウムへの参加や「公認心理師法案」の早期実現に向けて神奈川県選出の国会議員7名への陳情等に取り組みました。
- (4) 「国内の子の引渡しの強制執行における執行補助者」を、支部より3名選出しました。

5 「ニュースレター」の発行、ホームページの運営

- (1) 年間2回、神奈川支部ニュースレターを発行しました。
- (2) 研修会等の開催予定、ニュースレターの内容などを神奈川支部のホームページに掲載しました。
- (3) 全国大会にて神奈川支部の年度報告を行いました。

6 役員会の開催

神奈川支部役員会を4回実施しました。

- 第1回 2014年4月27日 17:00~18:00 ユニコムプラザさがみはら
総会、研修会の報告。広報、災害支援等、今年度の予定について
- 第2回 2014年10月19日 15:00~17:00 ユニコムプラザさがみはら
国家資格法案の動向、幹事会報告、全国大会報告、災害支援、広報等について
来年度の役員体制について
- 臨時役員会 2015年1月31日 16:30~17:15 ユニコムプラザさがみはら
来年度の役員体制について
- 第3回 2015年2月28日 10:00~12:00 横浜市青少年育成センター
来年度の総会、来年度の役員体制、および来年度の役割について

神奈川支部

2014年度収支計算書（2014年4月～2015年3月）

収入

費目番号	科目	予算額	決算額	差額	
4111-01	士会からの送金	基本準備金	420,000	420,000	0
4111-02		活動補助金	635,429	635,429	0
4111-03		活動企画費	0	0	0
4111-Z		その他	0	150,000	150,000
4112-01	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費(会員)	150,000	205,000	55,000
4112-02		公開研修会参加費(非会員)	0	0	0
4113-01	災害活動助成金	助成金(機構基金運用委員会から)	0	0	0
4113-02		助成金(外部団体から)	0	0	0
4371	預貯金利息	0	0	0	
4379-01	雑収入	事務処理手数料	0	0	0
4379-Z		その他	0	0	0
	当期収入合計(A)	1,205,429	1,410,429	205,000	

支出

費目番号	科目	予算額	決算額	差額	
6221-01	支部総会運営費	会場費	20,000	21,810	-1,810
6221-02		会議費	10,000	21,701	-11,701
6221-03		印刷費	3,000	0	3,000
6221-04		通信費	18,000	22,274	-4,274
6221-Z		その他	0	0	0
6222-01	支部研修会運営費	会場費	20,000	0	20,000
6222-02		会議費	10,000	37,935	-27,935
6222-03		講師謝金	130,000	114,821	15,179
6222-04		講師旅費	6,000	6,940	-940
6222-05		印刷費	6,000	30,822	-24,822
6222-06		通信費	18,000	21,209	-3,209
6222-Z	その他	0	0	0	
6223-01	役員会運営費	会場費	4,000	3,850	150
6223-02		会議費	50,000	0	50,000
6223-03		旅費	55,000	39,040	15,960
6223-04		印刷費	1,000	0	1,000
6223-05		通信費	0	0	0
6223-Z	その他	0	990	-990	
6224-01	NL関係費	印刷費	8,000	7,171	829
6224-02		通信費	54,000	18,974	35,026
6224-Z		その他	7,000	0	7,000
6225	ホームページ関係費	64,000	65,448	-1,448	
6226	印刷費	事務印刷費	2,000	0	2,000
6227	通信費	事務通信費	10,000	4,867	5,133
6228	消耗品費		20,000	4,749	15,251
6211-01	人件費	アルバイト給与(発送、研修会、その他)	20,000	20,240	-240
6211-02		アルバイト旅費(発送、研修会、その他)	0	3,940	-3,940
6229	備品費		0	0	0
6231-01	災害活動費	旅費	30,000	0	30,000
6231-02		通信費	0	0	0
6231-Z		その他	3,000	0	3,000
6232-01	他団体関係費	JDDネット(年会費)	0	0	0
6232-02		JDDネット(旅費)	0	0	0
6232-03		心理研修センター関係費(旅費)	0	0	0
6232-Z		その他	0	0	0
6233-01	渉外関係費	出張旅費	0	8,460	-8,460
6233-Z		その他	0	0	0
6234-01	支部分割関係費	会場費	0	0	0
6234-02		会議費	0	0	0
6234-03		旅費	0	0	0
6234-04		印刷費	0	0	0
6234-05		通信費	0	0	0
6234-Z		その他	0	0	0
6239	雑費		0	648	-648
	予備費		636,429		636,429
	当期支出合計(B)	1,205,429	455,889	749,540	
	当期収支差額(A)-(B)=(C)	0	954,540	-954,540	

2015 年度（平成 27 年度）日本臨床発達心理士会神奈川支部役員名簿

担当	新規 継続	氏名	所属
支部長	(新)	久保山 茂樹	国立特別支援教育総合研究所
副支部長	新	藺牟田 洋美	首都大学東京
事務局長	(新)	武部 正明	相模原市発達障害支援センター
会 計		中川 しのぶ	相模原市立新宿小学校
	新	中村 泉	横浜市戸塚地域療育センター
研修担当		由谷 るみ子	神奈川県立座間養護学校
	(新)	白馬 智美	横浜市総合リハビリテーションセンター
	新	小林 倫代	国立特別支援教育総合研究所
	新	富田 庸子	鎌倉女子大学
	新	齋藤 政子	明星大学
	新	Toth Gabor (トート・ガーボル)	相模女子大学
災害支援担当		尾崎 浩子	横浜市総合リハビリテーションセンター
		矢島 友子	NPO 法人 地域作業所まってる
広報担当	(新)	橋爪 美津子	神奈川県立相模原中央支援学校
	新	佐藤 朋実	横浜市立並木第四小学校
書 記	新	須田 恭平	横浜市北部地域療育センター
幹 事	(新)	久保山 茂樹	国立特別支援教育総合研究所
事務局	新	首都大学東京 健康福祉学部 藺牟田研究室	

<注釈>

新：新規役員 (新)：前年度からの継続役員かつ新規役職 無印：前年度からの継続役員かつ同じ役職

※協力会員

- ・子の引き渡しの関する協力候補者： 三隅 輝見子、内田 賢子、金澤 直樹

2015年度日本臨床発達心理士会神奈川支部 活動計画

2015年度は、神奈川支部は215名の(2015/04/01 現在)でスタートします。

神奈川支部は、教育機関、療育機関、一般臨床機関、行政機関、大学・研究機関など多様な職場で活躍する多彩な人材に恵まれています。研修会等において会員間の交流を促進することで支部活動を活発化するとともに、会員の臨床発達心理士としての資質向上を目指していきたいと考えます。また、支部ホームページを活用したタイムリーな情報発信を行ないません。再び動き出した心理職の国家資格化についても、ホームページ等を通してお伝えしていきます。

会員の皆様には、研修へのアドバイス、ホームページやニュースレターへの寄稿や情報提供、求人情報等の活用などのご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、2014年10月に、最高裁判所事務総局民事局より日本臨床発達心理士会あてに、日本国内における子の引き渡しの強制執行立会人又は執行補助者の推薦依頼があり、神奈川支部から候補者を推薦することにしました。

なお、2014年度から、日本臨床発達心理士会では、会員情報管理システム(SOLTI)を運用しています。会員登録情報の照会や変更、会費納入状況の確認は、会員自身がWEB上で直接行うことができます。今年度から、このシステムを活用し、支部研修会情報等をメールで配信するようにしていきます。会員の皆様には、メールアドレス等ご自身の登録情報を確認していただきますようお願い申し上げます。

1 総会の実施

2015年度の総会を、2015年4月26日(日)にユニコムプラザさがみはらにて開催します。2014年度の活動報告および決算報告、2015年度の活動計画を決定し予算の報告をします。

2 研修会の開催

<方針>

- (1) 最新の知見や先進的な実践について、講師をお招きし学習する機会を作ります。
- (2) 神奈川県における会員間の相互交流と実践に関する情報交換の機会を設定します。
- (3) 内容

第1回 2015年4月26日(日)

① 講演会(午前 1ポイント)

「運動発達障害の理解と支援—特に精神発達面に焦点を当てて—」

半澤直美氏(よこはま港南地域療育センター・センター長)

② 講演会(午後 0.5ポイント)

「重い障害のある子どもとのコミュニケーションを考える」

齊藤由美子氏(国立特別支援教育総合研究所・主任研究員)

第2回 時期・内容を検討中

3 広報活動

- (1) 神奈川支部ホームページの運営を行います。
 - ① 支部活動情報、研修会情報、求人情報、災害支援活動、心理職の国家資格化に関する動向等の記事の充実を図ります。
 - ② 全国士会や他支部のホームページとリンクし、情報にアクセスしやすくします。
- (2) 年間2回の予定で、神奈川支部ニュースレターを発行し、研修会報告、支部会員の活動等をお知らせします。また、ニュースレターを神奈川支部のホームページにも掲載をいたします。なお、今年度から SOLTI によりニュースレター・研修会の案内等を配信する予定です。

4 災害支援対策

- (1) 臨床発達心理士の災害支援に関する情報が得られた際には、神奈川支部のHPで会員の皆様にお知らせします。
- (2) 日本臨床発達心理士会災害・危機支援委員会に支部協力委員として参加します。

5 国内の子の引き渡しの強制執行に関する協力

最高裁判所事務総局民事局の依頼に応じ、国内の子の引き渡しの強制執行立会人又は執行補助者の候補者を推薦します。

6 日本臨床発達心理士会への参加・協力

- (1) 日本臨床発達心理士会幹事会に出席します。
- (2) 全国研修会への参加、講師協力等を行います。
- (3) 心理職の国家資格化に向けた必要な活動に協力します。
- (4) 国内の子の引き渡し強制執行補助者に協力します。

7 その他

- (1) 神奈川支部役員会を開催します。
- (2) 総会資料の作成と配布および保管を行います。
- (3) 神奈川支部会員の名簿管理を行います。

2015年度支部予算

神奈川支部

収入

2015.4.16

勘定科目	項目	金額	備考
活動準備金	士会より	470000	235人×2000
研修会参加費		160000	1000×80人×2
公開研修会参加費			
預貯金利息			
災害活動助成金	法人より		
災害活動助成金	外部団体より		
雑収入	事務処理手数料		
	その他		寄付等含む
小計		630000	
活動補助金		954540	
合計		1584540	

支出

勘定科目	項目	金額	備考
支部総会運営費	会場費	25000	会場費
	会議費	18000	
	印刷費	15000	総会資料
	通信費	22000	総会通知発送費
	その他		
役員会運営費	会場費	4000	役員会会場費
	会議費	40000	
	印刷費	2000	会議資料
	通信費		
	旅費	48000	役員会交通費
	その他		
支部研修会運営費	会場費	25000	研修会場費
	会議費	18000	
	講師謝金	120000	研修2回・講師謝礼
	講師旅費	10000	交通費
	印刷費	15000	研修会資料
	通信費	22000	研修会発送費
	その他	12000	講師手土産等
広報関係費	NL印刷費	22000	
	NL通信費	45000	NL発送費
	ホームページ関係費	65000	HP維持費1年分
	その他	7000	全国大会支部名品
通信費	事務通信費	8000	
印刷費	事務印刷費	3000	
消耗品費		25000	事務用品費(封筒等)
用品			
人件費	アルバイト謝金	20000	NL発送費人件費
	アルバイト旅費	5000	
旅費	その他旅費		
災害活動費	旅費	30000	ボランティア活動補助
	通信費		
	その他	3000	保険代
雑費		1000	手数料等
小計		630000	
予備費		954540	
合計		1584540	

一般社団法人 臨床発達心理士認定機構

日本臨床発達心理士会 神奈川支部規約

第1条（名称）

本会は、一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会神奈川支部と称する。

第2条（事務局）

本会は、事務局を東京都荒川区東尾久 7-2-10 首都大学東京 蘭牟田研究室内に置く。

第3条（目的）

本会は、臨床発達心理士の資格取得者の相互の連携を密にし、技能の向上を図るとともに、本会の健全な発展に寄与することを目的とする。

第4条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 研修会・研究会等の開催
- ② 神奈川支部ホームページの運営
- ③ ニュースレターの発行
- ④ その他、前条の目的を達成するために必要と認める事業

第5条（会員）

本会の会員は、日本臨床発達心理士会神奈川支部に所属する臨床発達心理士であり職場または住居を本支部内に有する者とする。

第6条（入会）

臨床発達心理士の資格取得の時点で、第5条に該当する会員が、一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構において本支部に登録した時点で、本会への入会とする。

第7条（退会）

会員が、第5条の条件を満たさず、一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構において本支部より登録を末梢した時点で、本会からの退会とする。

- ① 臨床発達心理士資格を喪失したとき
- ② 他支部への異動申請を受理されたとき

第8条（事業や活動への参加）

会員は、本会が主催または共催する事業および活動等に参加することができる。

第9条（総会）

総会は、支部会員をもって構成し、会の意思と方針を決定する。

- 2 定期総会は年1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催することとする。
- 3 総会の成立は、出席者と委任状提出者の合計数が支部会員の3分の1を超えることとする。定足数に満たない場合は、仮総会とする。
- 4 総会の議決は、出席者の過半数をもって成立とする。

- 5 仮総会における承認および決定事項は、全会員に周知し、その後、30日以内に支部会員の過半数の反対がない場合は、成立したものとする。
- 6 定期総会には次の議題を提出しなければならない。
 - ① 事業の年次報告及び年次計画の承認
 - ② 事業の収支決算及び収支予算の報告

第10条（役員・選出方法・任期）

本会には、次の役員を置く。

- 支部長（1名）
- 副支部長（1名）
- 事務局長（1名）
- 会計（2名）
- 研修（必要人数）
- 災害支援（必要人数）
- 広報（2名）
- 書記（1名）
- 幹事（1名）

その他、支部会の運営にあたり支部長が必要と認める役員

- 2 支部長、副支部長は会員の互選により選出し、事務局長、支部役員は支部長が指名する。
- 3 支部長は、本会を代表し、会務を執行する。
副支部長は、支部長を補佐する。
幹事は会員の互選によって選出し、他の役員との兼務を妨げない。
幹事は支部を代表し、日本臨床発達心理士会幹事会に出席する。
事務局長は支部長を補佐し、本会の事務を統括する。
- 4 役員任期は3年とし、再任を妨げない。

第11条（支部総会）

総会は、支部会員をもって構成し、会の意思と方針を決定する。総会は年1回開催される。

第12条（規約変更）

この規約の変更は、支部総会に出席した会員のうち3分の2以上の同意を得て、幹事会及び社員総会の承認を得るものとする。

施行期日 2006年5月28日より施行する。

改定	2009年5月30日	一部改定
	2012年5月26日	一部改定
	2013年4月20日	一部改定
	2014年4月1日	第9条、第10条、第12条、第13条、第14条改定
	2015年6月	一部改定